

青森県長期計画の変遷と計画を取り巻く社会経済状況の変化

西暦	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	
和暦	S37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	
青森県	名称	第1次長期経済計画					第2次長期経済計画				新長期計画			
	策定期間	昭和37年11月 昭和36～45年					昭和43年6月 昭和43～50年度				昭和46年8月 昭和46～60年度			
	基本目標等	・所得格差の是正					・能率のよい住み良い地域社会				・豊かで住み良い地域社会の実現 ・県民の福祉水準の飛躍的向上			
	背景	・日本経済の高度成長 ・既成4大工業地帯への過度集中による生産基盤の隘路の増大と都市生活環境の悪化 ・日本経済の二重構造ないし所得格差の顕在化					・労働力不足の深刻化 ・交通部門の革新・情報収集・処理迅速機構の革新 ・技術開発の進展・国際貿易の伸展 ・住民意識の変化				・むつ小川原大規模工業開発の具 ・東北縦貫自動車道の供用、東北交通時代への対応 ・米生産調整に伴う総合農政の展開			
	施策の推進方向・めざすべき社会像	①農林水産業の近代化 ②工業の発展 ③産業基盤の整備 ④国土の保全 ⑤労働力の質的向上と教育の振興 ⑥社会保障の充実					①生産性の向上と組織化の推進 ②産業基盤の整備 ③都市開発と農村社会開発の推進 ④産業近代化のための新しい担い手の養成 ⑤雪の克服のための創意工夫				①新しい交通通信体系とその対応 ②県民を豊かにする産業開発 ③住みよい地域社会をめざす環境 ④国土の保全及び水資源の開発			
	地域別計画等						地域総合開発の基本方向 (4地域・32頁)				広域生活圏開発の基本構想 (4圏域・16頁)			
知事	山崎岩男 (S31.7.22～ 38.1.26)		竹内俊吉 (S38.3.2～54.2.25)											
国	名称	全国総合開発計画						新全国総合開発計画						
	策定期間	昭和37年10月						昭和44年5月						
基本目標	目標年次	昭和45年						昭和60年度						
	基本目標	<地域の均衡ある発展>						<豊かな環境の創造>						
内閣総理大臣	池田勇人 (S35.7.19～39.11.9)	佐藤栄作 (S39.11.9～47.7.7)						田中角栄 (S47.7.7～49.12.9)						
	名目経済成長率	20.3%	11.6%	15.3%	13.4%	12.2%	17.7%	14.3%	14.1%	16.0%	14.2%	18.8%	22.0%	21.9%
実質経済成長率					9.9%	9.0%	7.1%	8.2%	7%	9.3%	8.3%	6.0%	1.9%	
社会経済白書 (経済白書、県民生活白書)のテーマ	・経済成長への課題 (S43 経済) ・70年代への課題 (S45 経済) ・新局面													
国の経済動向等	名目経済成長率	13.5%	14.4%	17.6%	11.3%	16.1%	17.2%	18.4%	17.5%	17.9%	10.0%	14.5%	21.8%	19.3%
	実質経済成長率	8.6%	8.8%	11.2%	5.7%	10.2%	11.1%	11.9%	12.0%	10.3%	4.4%	8.4%	8.0%	-1.2%
経済財政白書 (H12までは経済白書)のテーマ	・景気循環の変ぼう (S37) ・先進国への道 (S38) ・開放体制下の日本経済 (S39) ・安定成長の課題 (S40) ・持続的成長への道 (S41) ・国際化のなかの日本経済 (S43) ・豊かさへの挑戦 (S44) ・日本経済の新しい次元への道 (S45) ・内外均衡達成への道 (S46) ・新しい福祉社会の建設 (S47) ・率と福祉の向上 (S42) ・インフレなき福祉													
日本の景気循環 (通称・俗称)	好況	オリンピック景気			いざなぎ景気				ニクソン不況		列島改造景気			
	不況	証券不況									第一次オイルショック			
青森県に関する主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・野内村の青森市編入で県内67市町村 (S37) ・八戸地区新産業都市指定 (S38) ・青森市で「一日内閣」開催 (S38) ・青森空港開港 (S39) ・青函トンネル本州側調査坑竣工式 (S39) ・台風23号でりんご100万箱落果 (S40) ・「津軽岩木スカイライン」開通 (S40) ・全国高校総体開催 (S41) ・八戸港の水揚げ高100億円突破 (S41) ・フジ製糖青森工場閉鎖 (S42) ・原子力船むつ号の母港に大湊港決定 (S42) ・十勝沖地震発生 (S43) ・東北本線複線電化 (S43) ・むつ小川原開発計画決定 (S44) ・三沢高校が夏の甲子園準優勝 (S44) ・原子力船むつ号大湊港入港 (S45) ・棟方志功、県人初の文化勲章受章 (S45) ・三沢基地の日米共同使用決定 (S46) ・弘前市で気温39.2度を記録、全国観測史上4位 (S46) ・交通事故死者238人で史上最悪 (S47) ・りんご黒星病が異常発生 (S47) ・上北鉱山閉山 (S48) ・三笠山開山 (S48) ・原子力船むつ号の母港に大湊港決定 (S42) ・十勝沖地震発生 (S43) ・東北本線複線電化 (S43) ・むつ小川原開発計画決定 (S44) ・三沢高校が夏の甲子園準優勝 (S44) ・連合赤軍浅間山荘事件 (S47) ・日中国交正常化 (S47) ・3億円事件 (S43) ・川端康成ノーベル賞受賞 (S43) ・アポロ11号月面着陸 (S44) ・東大安田講堂占拠 (S44) ・日本万国博覧会、大阪で開催 (S45) ・作家の三島由紀夫割腹自殺 (S45) ・成田空港反対闘争 (S46) ・全日空機と自衛隊機空中衝突 (S46) ・石油危機 (S48) ・日航機ハイジャック (S48) ・三菱重工業 (S48) ・長島茂 (S48) 													
	国内・世界の主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・キューバ危機 (S37) ・日本人ヨットで太平洋横断 (S37) ・ケネディ大統領暗殺 (S38) ・三井三池炭鉱爆発事故 (S38) ・東京オリンピック開催 (S39) ・東海道新幹線東京大阪間開業 (S39) ・米国ベトナム戦争直接介入 (S40) ・日韓基本条約成立 (S40) ・ビートルズ来日 (S41) ・集団テロ事件 (S41) ・羽田学生デモ (S42) ・小笠原諸島返還決定 (S42) ・3億円事件 (S43) ・川端康成ノーベル賞受賞 (S43) ・アポロ11号月面着陸 (S44) ・東大安田講堂占拠 (S44) ・日本万国博覧会、大阪で開催 (S45) ・作家の三島由紀夫割腹自殺 (S45) ・成田空港反対闘争 (S46) ・全日空機と自衛隊機空中衝突 (S46) ・連合赤軍浅間山荘事件 (S47) ・日中国交正常化 (S47) ・3億円事件 (S43) ・川端康成ノーベル賞受賞 (S43) ・アポロ11号月面着陸 (S44) ・東大安田講堂占拠 (S44) ・日本万国博覧会、大阪で開催 (S45) ・作家の三島由紀夫割腹自殺 (S45) ・成田空港反対闘争 (S46) ・全日空機と自衛隊機空中衝突 (S46) 												

※ 県の実質経済成長率については、基準年次や推計方法の見直しにより、必ずしも接続しない。よって、正式なデータとしては参考値

1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1

第4次長期総合計画

昭和52年11月 昭和51~60年度		
・豊かで住みよい活力のある地域社会の建設		
体化 新幹線等による高速 開	・地域格差の存在 ・県外への出稼ぎ ・若年層の流出 ・高度成長から低成長への移行	第5次長期総合計画 (次頁)
の保全と整備	①活力と豊かさを支える産業の発展 ②安心した生活と快適な生活環境の確保 ③県土の発展を支える基礎条件の整備 ④人間性豊かな人づくりと地域の発展を担う人材の育成 ⑤コミュニティの形成	
地域別構想(4地域・12頁)[地域発展の基本方向]		

北村正哉(S54.2.26~H7.2.25)

第三次全国総合開発計画

第四次全国総合
開発計画(次頁)

昭和52年11月 目標年次：昭和52年から概ね10か年間 <人間居住の総合的環境の整備>		(H1.6.3~H1.8.10)
--	--	------------------

三木武夫 (S49.12.9~ S1.12.24)	福田赳夫 (S51.12.24~ 53.12.7)	大平正芳 (S53.12.7~ 55.7.17)	鈴木善幸 (S55.7.17~ 57.11.27)	中曽根康弘 (S57.11.27~62.11.6)	宇野宗佑 (S62.11.6 ~H1.6.3)									
15.3%	12.8%	10.5%	9.7%	11.8%	4.5%	7.1%	3.9%	2.0%	6.3%	6.6%	1.0%	3.2%	4.6%	7.7%
4.4%	4.0%	4.9%	1.2%	9.3%	1.1%	3.7%	2.0%	-0.3%	3.9%	1.5%	-1.8%	1.9%	3.6%	4.7%
・産業構造の質的高度化をめざして(S59 経済) ・雪と県民生活(S60 生活) ・成長力の涵養をめざして(S61 経済) ・高齢化社会へ向けて(S62 生活) ・新たな環境変化と 県経済(S63 経済)														
を迎えて(S49 経済) ・県民生活の回顧と福祉水準(S50 生活) ・低成長下の構造変化と県経済の課題(S52 経済) ・新局面を迎える県経済(S55 経済) ・全天候型の産業構造をめざして(S57 経済)														
10.5%	12.3%	11.4%	10.1%	8.4%	8.4%	7.5%	5.0%	4.0%	6.3%	7.4%	4.7%	4.0%	7.5%	7.7%
3.1%	4.0%	4.4%	5.3%	5.5%	2.8%	4.2%	3.4%	3.1%	4.5%	6.3%	2.8%	4.1%	7.1%	5.4%
済を超えて(S49) ・新しい安定軌道をめざして(S50) ・新たな発展への基礎のため(S51) ・安定成長への適応を進める日本経済(S52) ・構造転換を進めつつある日本経済(S53) をめざして(S48) ・すぐれた適応力と新たな出発(S54)														
・先進国日本の試練と課題(S55) ・日本経済の創造的活力を求めて(S56) ・経済効率性を活かす道(S57) ・国際的調和をめざす日本経済(S61) ・進み構造転換と今後の課題(S62) ・持続的成長への足止め(S58) ・内需型成長の持 ・新たな国際化に対応する日本経済(S59)と国際社会へ ・新しい成長とその課題(S60)の貢献(S63)														

安定成長景気	公共投資景気	第二次オイルショック	ハイテク景気	円高不況	バブル景気
・三沢空港東京便就航(S50)	・岩木山百沢で土石流発生(S50)	・強風でりんご360万箱落果(S51)	・63年ぶりの冷夏と冷害(S51)	・あすなろ国体開催(S52)	・青森市積雪195cmの豪雪で政府が豪雪対策本部設置(S52)
・本県人口150万人を超える(S53)	・八戸港水揚げ75万トンを日本一に(S53)	・東北自動車道青森-大鰐間開通(S54)	・台風20号でりんご200万箱落果(S54)	・東北新幹線青森駅が石江地区に決定(S55)	・冷夏で水稲作況指数47の大凶作(S55)
・国鉄黒石線・大畑線の廃止決定(S56)	・水稲作況指数65と2年連続の冷害(S56)	・東北新幹線盛岡-大宮間開業(S57)	・原子力船むつ佐世保での改修終了4年ぶりに大浜へ帰港(S57)	・日本海中部地震発生(S58)	・青函トンネル先導坑貫通(S58)
・黒石線・大畑線の民営化(S59)	・県内、記録的な豪雪被害(S59)	・核燃サイクル基地六ヶ所村立地決定(S60)	・むつ小川原国家石油備蓄基地完成(S60)	・東北自動車道青森-浦和間開通(S61)	・県観光物産館アスパム開館(S61)
・新青森空港開港(S62)	・台風12号で水稲・りんごに100億円の被害(S62)	・青函トンネル開業、青函博開催(S63)	・六ヶ所村ウラン濃縮工場建設着手(S63)	・リクルート疑惑(S62)	・世界人口50億人突破(S62)
・キングオブロックンロール	・エルビス・プレスリー死去(S62)	・宮城県沖地震(S63)	・英で試験管ベビー誕生(S63)	・東名高速日本坂トンネル事故(S64)	・東京で先進国首脳会議開催(S64)
・ジョン・レノン射殺(S65)	・1億円拾得事件(S65)	・ローマ法皇初来日(S66)	・深川通り魔殺人事件(S66)	・ホテルニュージャパン火災(S67)	・フォークランド紛争(S67)
・大韓航空機墜落事件(S68)	・三宅島大噴火(S68)	・日航ジャンボ機墜落、520人死亡(S60)	・国鉄同時多発ゲリラ(S60)	・チェルノブイリ原発事故(S61)	・英女王・皇太子が77才来日(S61)
・グリコ森永事件(S69)	・ロス五輪(S69)	・リクルート疑惑(S62)	・世界人口50億人突破(S62)	・チェルノブイリ原発事故(S61)	・英女王・皇太子が77才来日(S61)

として利用された。

		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002		
西暦 和暦		H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
青森県	名称	第5次長期総合計画								新青森県長期総合プラン						
	策定時期	昭和61年12月								平成9年2月						
	計画期間	昭和61～平成12年度								平成9～18年度						
	基本的目標等	・豊かで住みよい活力のある地域社会の建設								・ニューレサンス 一人間性復活						
	背景	・人口の急速な高齢化 ・所得水準の伸び悩み ・県民意識の多様化 ・高速交通時代の到来・情報化、国際化の進展								・従来の開発主導型による発展の限界 ・自然との共存や心の豊かさを求める新たな動き ・「地方分権」「新地方時代」の始まり ・県民の意欲と能力が問われる時代						
	施策の推進方向・めざすべき社会像	①新時代を担う人づくりと個性豊かな学術・文化の創造 ②豊かな地域社会を築く産業の振興 ③快適でめくもりのある新しい調和型社会の創出 ④高度ネットワーク型社会の創出 ⑤美しい県土の保全と豊かな資源の活用								①誰もがゆとりを持って、安心して、快適に暮らせる「悠々・安心・快適社会」の実現 ②自立性と自主性を育む、可能性に富んだ「未来力あふれる社会」の実現 ③新たな生活空間を提案する「彩りある美しい社会」 ④多様な交流ネットワークの形成を通じて、新たな可能性を創造する「出逢い創造社会」の実現						
地域別計画等	地域別構想(4地域・12頁)[地域別の発展方向と主要施策]								県土のグランドデザイン(3圏域・40頁) [各圏域の整備方向]							
知事	北村正哉(S54.2.26～H7.2.25)								本村守男(H7.2.25～15.5.16)							
国	名称	第四次全国総合開発計画								21世紀の国土のグランドデザイン						
	策定時期	昭和62年6月								平成10年3月						
基本的目標	目標年次	概ね2000年								目標年次：2010年から2015年						
	多様分散型国土の構築	(H5.8.9～H6.4.28)								<多軸型国土構造形成の基礎づくり>						
内閣総理大臣	海部俊樹 (H1.8.10～3.11.5)	宮澤喜一 (H3.11.5～5.8.9)	細川護国 羽田孜	村山富市 (H6.6.30～8.1.11)	橋本龍太郎 (H8.1.11～10.7.30)	小淵恵三 (H10.7.30～12.4.5)	森喜朗 (H12.4.5～13.4.26)	小泉純一郎 (H13.4.26～18.9.26)								
県の経済動向等	名目経済成長率	5.9%	4.5%	4.0%	0.5%	4.7%	2.4%	2.1%	-1.9%	-0.4%	0.2%	1.3%	-2.5%	-1.7%		
実質経済成長率	2.9%	2.2%	2.2%	-0.3%	4.4%	3.0%	2.6%	-2.9%	0.7%	1.3%	2.2%	-0.8%	0.0%			
社会経済白書(経済白書、県民生活白書)のテーマ	・自立調和型経済に向けて(H2 経済) ・県民生活と快適生活環境(H3 生活) ・産業の質的向上のために(H4 経済)								・戦後50余年を経た県民生活の変遷(H9 生活) ・21世紀の産業づくりと雇用の創出に向けて(H10 生活) ・少子社会の中での県民生活(H11 生活) ・県民の生活満足度と今後の対応(H5 生活) ・新しい経済フロンティアの構築に向けて(H6 経済) ・本県経済と情報通信技術(IT) ・消費生活を巡る情勢と消費生活向上に向けての対応(H7 生活) ・高齢者の就業 ・本県経済成長の道のりと未来(H8 経済)							
国の経済動向等	名目経済成長率	8.0%	6.0%	2.4%	0.6%	1.0%	2.6%	2.5%	0.7%	-1.5%	-0.8%	1.4%	-1.9%	-0.7%		
実質経済成長率	5.6%	3.3%	0.8%	0.2%	0.9%	3.2%	2.9%	-0.1%	-1.0%	0.6%	2.6%	-0.7%	0.9%			
経済財政白書(H12までは経済白書)のテーマ	・平成経済の門出と日本経済の新しい潮流(H・日本経済のダイナミズムの復活をめざして(H7) ・調整をこえて新たな展開をめざす日本経済(H4) ・パラルの教訓と新たな発展への課題(H5) ・厳しい調整を越えて新たなフロンティアへ(H・新しい世の中が始まる(H12)								・改革を切り開く(H8) ・改革へ本格起動する日本経済(H9) ・調整をこえて新たな展開をめざす日本経済(H4) ・創造的発展への基礎固め(H10) ・経済再生への挑戦(H11) ・改革なくして成長 ・改革なくして成長							
日本の景気循環(通称・俗称)	好況	バブル景気		第一次平成不況(複合不況)			カンフル景気		第二次平成不況(日本列島総不況)		IT景気		第三次平成不況(デフレ不況)			
青森県に関する主な出来事	・東北自動車道八戸線全通(H1) ・県産米「つがるおとめ」デビュー(H1) ・津軽岩木リゾート構想承認(H2) ・青森空港全面開港(H2) ・東北新幹線盛岡-青森間着工(H3) ・六ヶ所ウラン濃縮工場の本格操業開始(H4) ・弘沼湿原のオオセッコク国内希少野生動物種に指定(H4) ・白山山地世界遺産登録(H5) ・全国最低の作況指数28で大正2年以来の大凶作(H5) ・三内丸山遺跡から木柱等出土(H6) ・三陸はるか沖地産発生(H6) ・ソウル便、ハバロフスク便就航(H7) ・東北新幹線盛岡-八戸間フル化着工(H7)								・五所川原立俣武多復活(H8) ・八戸港が国の輸入促進地域に指定(H8) ・三内丸山遺跡の国史跡指定(H9) ・県産米「つがるロマン」デビュー(H9) ・東北新幹線八戸-新青森間着工(H10) ・弘南鉄道黒石線廃止(H10) ・東通原発電工(H11) ・県立保健大学開学(H11) ・三内丸山遺跡特別史跡指定 ・六ヶ所村再処理工場への使用 ・下北交通大畑線 ・八戸市が特別市に ・東北新幹線 ・青い森鉄道							
国内・世界の主な出来事	・ベルリンの壁崩壊(H1) ・消費税スタート(H1) ・礼宮さま・紀子さま御結婚(H2) ・東西ドイツが統一(H2) ・湾岸戦争(H3) ・雲仙普賢岳で火砕流(H3) ・バルセロナ五輪で日本メダル22個(H4) ・皇太子・雅子さま御結婚(H5) ・北海道南西沖地産(H5)		・中華航空機着陸失敗、264人死亡(H6) ・関西国際空港開港(H6) ・阪神・淡路大震災(H7) ・地下鉄サリン事件(H7) ・0-157による集団食中毒(H8) ・ベル-日本大使公邸人質事件(H8) ・ダイアナ元妃、パリで交通事故(H9) ・9.11アメリカ ・長野冬季五輪(H10) ・国内初の狂牛病 ・和歌山カラー毒物混入事件(H10)			・西暦2000年問題(H11) ・初の脳死判定による移植手術実施(H11) ・三宅島雄山噴火(H12) ・シドニー五輪(H12)		・日朝首脳 ・サッカー								

※ 県の実質経済成長率については、基準年次や推計方法の見直しにより、必ずしも続かない。よって、正式なデータとしてではなく参考値

2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013																																	
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25																																	
生活創造推進プラン						青森県基本計画発表への経緯																																					
平成16年12月 平成16～20年度 暮らしやすさのトップランナーをめざして 経済のグローバル化 少子・高齢化の進行 地方分権の進展 環境への意識の高まり 情報ネットワーク社会の進展						平成20年12月 平成21～25年度 「生産（なりわい）」に裏打ちされた豊かな「生活」が実現している社会 人口減少幅の拡大や高齢化・少子化の進行 浮腫老老 経済や厳しい雇用情勢 人口減少下でのグローバル展開の必要性 「食」に対する県民・国民の関心の高まり 地球環境問題のクローズアップ 平成22年度中の東北新幹線全線開業																																					
①人財・青森の豊かさを知り、夢をもって未来を拓く社会 ②産業・雇用いきいきと働ける豊かな社会 ③健康・健やかで安心して暮らせる社会 ④環境・環境と共生する循環型社会 ⑤安全・安心・安全・安心で快適な社会						①産業・雇用分野（仕事づくりと所得の向上） ②安全・安心、健康分野（命と暮らしを守る） ③環境分野（低炭素・循環型社会の形成） ④教育、人づくり分野（生活創造社会の礎）																																					
地域別計画（6地域・36頁）【特性と課題、概況、めざす姿、取組の展開方向と重点施策】																																											
三村申吾（H15.6.29～）																																											
国土形成計画 平成20年7月 目標年次：平成20年から概ね10年間																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">小泉純一郎 (H13.4.26～18.9.26)</td> <td style="width: 10%;">安倍晋三 (H19.9.26～19.9.26)</td> <td style="width: 10%;">福田康夫 (H19.9.26～20.9.24)</td> <td style="width: 10%;">麻生太郎 (H20.9.24～21.9.16)</td> <td style="width: 10%;">鳩山由紀夫 (H21.9.16～22.6.8)</td> <td style="width: 10%;">菅直人 (H22.6.8～23.9.2)</td> <td style="width: 10%;">野田佳彦 (H23.9.2～24.12.26)</td> <td style="width: 10%;">安倍晋三 (H24.12.26～)</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>-1.4%</td><td>-0.4%</td><td>-2.9%</td><td>8.2%</td><td>-0.8%</td><td>-6.0%</td><td>-0.8%</td><td>0.5%</td><td>0.5%</td><td>0.7%</td><td>-1.7%</td> </tr> <tr> <td>-0.4%</td><td>0.8%</td><td>-1.8%</td><td>9.1%</td><td>-0.6%</td><td>-6.5%</td><td>-1.0%</td><td>0.4%</td><td>1.0%</td><td>1.4%</td><td>-1.4%</td> </tr> </table>											小泉純一郎 (H13.4.26～18.9.26)	安倍晋三 (H19.9.26～19.9.26)	福田康夫 (H19.9.26～20.9.24)	麻生太郎 (H20.9.24～21.9.16)	鳩山由紀夫 (H21.9.16～22.6.8)	菅直人 (H22.6.8～23.9.2)	野田佳彦 (H23.9.2～24.12.26)	安倍晋三 (H24.12.26～)				-1.4%	-0.4%	-2.9%	8.2%	-0.8%	-6.0%	-0.8%	0.5%	0.5%	0.7%	-1.7%	-0.4%	0.8%	-1.8%	9.1%	-0.6%	-6.5%	-1.0%	0.4%	1.0%	1.4%	-1.4%
小泉純一郎 (H13.4.26～18.9.26)	安倍晋三 (H19.9.26～19.9.26)	福田康夫 (H19.9.26～20.9.24)	麻生太郎 (H20.9.24～21.9.16)	鳩山由紀夫 (H21.9.16～22.6.8)	菅直人 (H22.6.8～23.9.2)	野田佳彦 (H23.9.2～24.12.26)	安倍晋三 (H24.12.26～)																																				
-1.4%	-0.4%	-2.9%	8.2%	-0.8%	-6.0%	-0.8%	0.5%	0.5%	0.7%	-1.7%																																	
-0.4%	0.8%	-1.8%	9.1%	-0.6%	-6.5%	-1.0%	0.4%	1.0%	1.4%	-1.4%																																	
<p>・人口減少社会への対応（H15） ・世界経済危機からのゆるやかな回復と本県経済（H22） ・東日本大震災と本県経済（H23） ・活力ある地域社会の形成に向けて（H24） ・課題解決を通じた地域3a1-Fの再構築（H25）</p> <p>・フル下における県民生活と本県経済の活性化に向けて（H16） ・高速度交通体系の整備と本県経済、県民生活の質化（H17） ・持続的・自立可能な地域経済の実現を目指して（H18） ・課題解決を通じた地域3a1-Fの再構築（H25）</p> <p>県民生活の今日的課題（H13生活） ・人口減少社会における地域の活性化に向けて（H19） ・平成14年2月～平成19年10月の県景回復期における本県経済の動向（H20） 就業環境づくりに向けて（H14） ・世界的な経済危機と本県経済（H21）</p>																																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">0.5%</td><td style="width: 10%;">0.6%</td><td style="width: 10%;">0.8%</td><td style="width: 10%;">0.6%</td><td style="width: 10%;">0.2%</td><td style="width: 10%;">-4.1%</td><td style="width: 10%;">-3.6%</td><td style="width: 10%;">1.5%</td><td style="width: 10%;">-1.0%</td><td style="width: 10%;">-0.1%</td><td style="width: 10%;">2.7%</td> </tr> <tr> <td>1.9%</td><td>1.7%</td><td>2.2%</td><td>1.3%</td><td>1.1%</td><td>-3.6%</td><td>-2.4%</td><td>3.3%</td><td>0.5%</td><td>0.6%</td><td>2.7%</td> </tr> </table> <p>なし（H13） 成長なしⅡ（H14） ・改革なくして成長なしⅢ（H15） ・改革なくして成長なしⅣ（H16） ・改革なくして成長なしⅤ（H17） ・成長条件が復元し、新たな成長を目指す日本経済（H18） ・リスクに立ち向かう日本経済（H20） ・危機の克服と持続的回復への展望（H21） ・必要の創造による成長力の強化（H22） ・日本経済の本質的な能力を高める（H23） ・日本経済の復興から発展的創造へ（H24） ・経済の好循環の確立に向けて（H25）</p>											0.5%	0.6%	0.8%	0.6%	0.2%	-4.1%	-3.6%	1.5%	-1.0%	-0.1%	2.7%	1.9%	1.7%	2.2%	1.3%	1.1%	-3.6%	-2.4%	3.3%	0.5%	0.6%	2.7%											
0.5%	0.6%	0.8%	0.6%	0.2%	-4.1%	-3.6%	1.5%	-1.0%	-0.1%	2.7%																																	
1.9%	1.7%	2.2%	1.3%	1.1%	-3.6%	-2.4%	3.3%	0.5%	0.6%	2.7%																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">いざなぎ景気</td> <td style="width: 34%; text-align: center;">デジャブ景気</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">欧州経済危機</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">← 世界金融不況</td> <td></td> <td style="text-align: center;">→</td> </tr> </table>											いざなぎ景気	デジャブ景気	欧州経済危機	← 世界金融不況		→																											
いざなぎ景気	デジャブ景気	欧州経済危機																																									
← 世界金融不況		→																																									
<p>・第5回アジア冬季競技大会開催（H15） ・青森自動車道青森IC-青森東IC間開通（H15） ・五戸町と倉石村が合併（H16） ・県、六ヶ所村、日本原産がウラン試験安全協定調印（H16） ・八甲田トンネル貫通（H17） ・東通原発運転開始（H17） ・県立美術館開館（H18） ・平成の大合併で40市町村に、青森市が中核市に移行（H18） ・青森空港CATⅢ化（H19） ・八甲田で雪崩、死者2名重軽傷8名（H19） ・G8エネルギー担当大臣会合開催（H20） ・本県人口140万人割れ（H20） ・太宰治生誕100年（H21） ・東北新幹線東京-新青森間がレール1本で繋がる（H21） ・新型インフルエンザ流行で学校等閉鎖措置が増加（H21）</p> <p>・記録的猛暑による陸奥湾養殖ホタテへ死被害（H22） ・東北新幹線全線開業（H22） ・M9.0の巨大地震を記録した東日本大震災で大津波が発生、県南を中心に漁港・住宅等に被害（H23） ・弘前城築城400年祭（H23） ・大震災で国道279号車数百台立ち往生（H24） ・ハルセンべい汁8-1グランプリ金賞（H24） ・三陸復興国立公園の指定（H25） ・三浦雄一郎氏が80歳でベスト登山頂に成功（H25）</p>																																											
<p>会談（H14） W杯日韓共催（H14） ・新型肺炎SARSの世界的流行（H15） ・スベ-スルトルコビ7号墜落事故（H15） ・スマトラ島沖地震（H16） ・新潟県中越地震（H16） ・耐震偽装問題（H17） ・JR福知山線脱線事故（H17） ・ライプツォク捜査、福江社長逮捕（H18） ・WBCで王ジャパン世界一（H18）</p> <p>・食品偽装問題（H19） ・中国食品等の安全性問題（H19） ・秋葉原無差別殺傷事件（H20） ・オバマ氏が史上初の黒人系大統領に就任（H20） ・マイケル・ジャクソン死去（H21） ・衆院選で民主党が大勝、政権交代（H21） ・実朝船島沖での海保巡視船と中国漁船衝突事故動向の流出（H22） ・東京スカイツリー開業（H24） ・富士山が世界文化遺産に登録される（H25） ・2020年の東京オリンピック開催決定（H25）</p>																																											

として利用された。

西暦		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	
和暦		26	27	28	29	30	31/1	2	3	4	5	
青森県	名称	青森県基本計画未来を定める挑戦					青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦					
	策定時期	平成25年12月					2018(平成30)年12月					
	計画期間	平成26～30年度					2019(平成31)～2023年度					
	基本的目標等	青森県の「生業(なりわい)」と「生活」が生み出す価値が世界に貢献し広く認められている状態					「生業(なりわい)」と「生活」が好循環する地域へ～「世界が認める「青森ブランド」の確立」～					
	背景	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少・少子高齢化の進行 ・平均寿命の低位停滞 ・ICT技術の普及と県民生活への浸透 ・北海道新幹線新青森・新函館北斗間開業(H27年度) ・東日本大震災からの創造的復興 					<ul style="list-style-type: none"> ・歯止めのつかからない人口減少・少子高齢化の進行 ・第4次産業革命の進展による地域社会の変化(Society5.0の実現) ・各産業分野で労働力不足の顕在化 ・国際社会での「持続可能な開発目標」(SDGs)に対する関心の高まり 					
	施策の推進方向・めざすべき社会像	<ul style="list-style-type: none"> ①産業・雇用分野(仕事づくりと所得の向上) ②安全・安心、健康分野(命と暮らしを守る) ③環境分野(自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会の形成) ④教育、人づくり分野(生活創造社会の礎) 					<ul style="list-style-type: none"> ①産業・雇用分野(しごとづくりと所得の向上) ②安全・安心、健康分野(命と暮らしを守る) ③環境分野(自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会) ④教育・人づくり分野(生活創造社会の礎) 					
地域別計画等	地域別計画(2030年におけるめざす姿、概要、特性と課題、取組の基本方針と主な取組)					地域別計画(2030年におけるめざす姿、概要、特性と課題、取組の基本方針と主な取組)						
知事	三村申吾(H15.6.29～)											
国	名称	第二次国土形成計画										
	策定時期	平成27年8月										
内閣総理大臣	目標年次	目標年次：平成27年から概ね10か年間										
	基本的目標											
県の経済動向等	内閣総理大臣	安倍晋三 (H24.12.26～R2.9.16)							菅義偉 (R2.9.16～3.10.4)		岸田文雄 (R3.10.4～)	
	名目経済成長率 実質経済成長率	1.7% 0.0%	3.9% 3.0%	-0.1% -0.7%	-1.9% -2.7%	-1.3% -1.5%						
国の経済動向等	社会経済白書(経済白書、県民生活白書)のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・健康長寿社会の実現に向けて(H26) ・県民一人ひとりの経済基盤の確立にむけて(H27) ・魅力あふれる「あおりワーク」の確立に向けて(H28) ・「ひと」が支える持続可能な地域づくり(H29) ・人口減少社会に対応した地域公共交通の構築に向けて(H30) ・労働力不足の克服に向けて(R元) ・働く場として選ばれるために(R2) 										
	名目経済成長率 実質経済成長率	2.1% -0.4%	3.3% 1.7%	0.8% 0.9%	2.0% 1.8%	0.1% 0.2%	0.2% -0.7%	-3.9% -4.5%				
日本の景気循環(通称・俗称)	経済財政白書(H12までは経済白書)のテーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・よみがえる日本経済、広がる可能性(H26) ・四半世紀ぶりの成長と再生する日本経済(H27) ・リスクを超えて好循環の確立へ(H28) ・技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長(H29) ・「白書」：今、Society5.0の経済へ(H30) ・「令和」新時代の日本経済(R元) ・コロナ危機：日本経済変革のラストチャンス(R2) 										
	景気循環	アベノミクス景気										
青森県に関する主な出来事	主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・天皇、皇后両陛下下り来県(H26) ・県産米新品種「青天の霹靂」特Aランク取得(H27) ・県産米新品種「青天の霹靂」発売開始(H27) ・北海道新幹線新青森・新函館北斗間開業(H28) ・伊調馨選手、五輪4連覇で国民栄誉賞(H28) ・八戸市が中核市に移行(H29) ・全国高校サッカーで青森山田高が県勢初優勝(H29) ・津軽塗が国の重要無形文化財に指定(H29) ・国際定期便「青森・天津線」が就航(H29) ・弘前さくらまつり100周年(H30) ・東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー実施(R3) ・縄文遺跡群が世界文化遺産に登録(一時孤立)(R3) ・下北で大雨、橋の崩落等で約800人がR3時孤立(R3) ・東京2020オリンピック聖火リレー青森ルート決定(R元) ・縄文遺跡群が世界文化遺産登録推薦候補に選定(R元) ・国内線「青森・神戸線」が就航(R元) ・縄文遺跡群の世界文化遺産登録推薦書を国からユネスコへ提出(R2) ・県内経済情勢はコロナ禍「厳しい状況」、20期ぶり下方修正(R2) ・新たなブランド県産品「青い森紅サマーモン」販売開始(R2) ・北海道新幹線、3月に開業5周年(R2) 										
	国内・世界の主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> ・7/17/21の評価を問う衆院選自民圧勝(H26) ・STAP細胞論文に改ざんなど不正(H26) ・環太平洋パートナーシップ(TPP)協定大筋合意(H27) ・社会保障・税番号(マイナ)制度開始(H28) ・随上100m、日本人初の9秒台(H29) ・経団連が2021年春から就活ルールを撤廃(H30) ・史上初の米朝首脳会談が開催(H30) ・米国抜きでTPP11が発効(H30) ・「平成」に幕、新時代「令和」へ(R元) ・ラグビーW杯日本大会開催(R元) ・日米貿易協定発効(R元) ・新型コロナウイルスの感染増加、全都道府県に緊急事態宣言発令(R2) ・米大統領選史上最多総得票数、バイデン氏勝利へ(R2) ・東京2020オリンピック・パラリンピック開催 ・オリンピックで日本メダル最多の58個(R3) 										